

知財企画・知財戦略チームのチカラを上げ、研究開発戦略を実践する！ 知財企画強化・リエゾン強化実践講座

～知財力が低いのではない、技術力が低いのだ～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

日時▶ 2019年9月27日(金) 13:00~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

「知財力が低いのではない、技術力が低いのだ」と過激なコトは言わないまでも、同じように嘆く知財パーソンは多い。経営者が、自社の知財力が低い理由を「知財部門が情けない」という理由に求める中、実際は知財の問題ではないことも多い。ただし、知財の機能強化で研究開発をリードするモデルケースを解説しながら、知財経営の実践を解説する。受講対象者本セミナーでは、知財部発で研究開発の改革を意図する経幹部向けに、知財を戦略的に活用して事業創出力を向上させた経営幹部向けの内容です。

講師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)

講師紹介
事業を模倣されて利益率が低迷した経験、社員の離反を招いた経験から継続的な組織成長の仕組みを模索。継続的な組織成長の仕組みは、社員の自発・自律・自治を促す学習と実践(会議)である事に気づき、「全員経営会議」として体系化。現在は全員経営会議の提供や、技術企業の高収益化のコンサルティングを通じて、社員の自己成長を促しつつ組織成長を実現する企業を支援している。クライアント企業では、売上が短期間に2倍になったケース、知財出願ベースが3倍になったケース、有望研究開発テーマが多数立案されたケースがある。専門は技術企業の高収益化。北海道大学卒業・東京大学大学院修了。日経テクノロジーのコラム「知財で築く真田丸」連載中。



【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) から申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-----	------------------------	----	------------------------

191430-1010 知財開発実践講座			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 役	属 職	
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F

・プログラム・

1. 儲かる知財経営のあり方

- (1) 粗利9割、背後に知財/IP ランドスケープの正体
- (2) 粗利7割、儲けの源泉を守る知財/企業での意思決定
- (3) 知財戦略など本当は存在しない/戦略とはなにか/戦略は誰が考えるのか
- (4) 本当に重要なものは/インフォメーションとインテリジェンス

2. 知財開発業務2つの視点

- (1) DとR2つの視点/独自性
- (2) 商品レベルの知財開発/マップから発想が良い場合/要望対応が良い場合
- (3) 事業・企業レベルの知財開発/トレンドからの発想は丸かぶり
- (4) 経営者に理解させるために/高収益実現のための発想

3. 優秀なリエゾンになるには、育てるには

- (1) 知財バカは要らない/研究開発や事業部の実力を診断する
- (2) 敵を知り、己を知り、ユーザーを知り、サプライヤを知る
- (3) パテントエンジニアというよりビジネスエンジニア
- (4) 事業を保護する視点でリードするには/リエゾンの必須スキル
- (5) リエゾンを育てる/リエゾンの人材像/能力形成

4. 技術力を高めさせる、技術戦略をリードする

- (1) 資源配分ゲームの感覚/知財力が低いのではない、技術力が低いのだ
- (2) ありがたがられるには/提案力の強化/競争仮説の設定
- (3) リエゾンを十分に武装させる/ケース別のマップの軸
- (4) リードを仕組み化する/マニュアル化
- (5) 仕組みを高度化する

5. 経営者の視点で知財を考える

- (1) 知財のビジョンがなければ/ビジョンを結実させるには
- (2) 雛形・型の創造/能力開発/実践とOJT/トレーニングできる人
- (3) バント・ヒットを出しながら/出来る人の選択と調達
- (4) 他部署との関係整理/好かれる知財部/対等の感覚を持たないと

6. まとめ

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合があります。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。